

ゆとり

(理 念)

地域の基幹病院として、患者様に信頼され、
愛され、満足される、質の高い医療を目指します。

(基本方針)

1. 高度医療の充実
 1. 高齢化社会への対応
 1. 予防医学の充実
- を目指した、「手作りの医療」を心がけています。

** Contents **

- 新年のご挨拶
- イベント報告ークリスマスコンサート
- 花粉症のお話

～お知らせ～

平成24年1月より

- 内科「鈴木淳先生」が**常勤**となりました。
- 内科、泌尿器科の担当医表が一部変更となりました。（今号に外来担当表添付）
- 専門外来「糖尿病外来」の時間が下記の通り変更となりました。

毎週火曜日午後2時 → **毎週土曜日午前10時**

詳しくは当院HPをご覧ください。受付にお問い合わせ下さい。





新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様には幸多き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、去年は東日本大震災という千年に一度の大災害や

原発事故により経済・社会情勢が大きく揺れ動き、医療も

例外ではありませんでした。当院においては、震災の被害

がほとんどなく地域での医療が継続し提供できましたことに職員一同

感謝をする気持ちを忘ません。今年は、震災の年から発展の年へと全職員、

地域の基幹病院とし急性期医療の充実のため更に努力してまいりますので

本年も皆様のご理解ご指導よろしくお願い申し上げます。



医療法人積仁会 島田総合病院 院長 嶋田 賢



イベント報告

★ 島田総合病院 クリスマスコンサート ★

～東日本大震災復興に祈りを込めて～

平成23年12月16日(金)、恒例となりましたクリスマスコンサートを開催致しました。

今回は「東日本大震災復興に祈りを込めて」と銘打ち、被災された方々へ思いを込めて、

循環器科の鈴木勝先生、越智まり子さん、園山久美子さん、ピアノ伴奏の境さなえさんにより、

素敵な曲を披露して頂きました。

患者様や大勢の皆様、そして職員が、素晴らしい癒しの

ひとときを過ごすことができました。

そして、参加された皆様や職員の復興への願いが、

きっと被災者の方々に届いたことと思います。





花粉症のお話



これから寒さや乾燥も厳しいものとなり、

風邪などにより一層注意しなくてはなりません。

もうすぐ本格的に花粉の飛散する時期もやってきます。

花粉症の方にとって一番つらい季節であるかもしれません。

そこで今回は花粉症についてのお話をします。

▼ 花粉症のメカニズム ▼

花粉症はアレルギー疾患の一つです。スギやヒノキなどの花粉（アレルゲン）が鼻や目の中に入り、粘膜にくっつきます。これにより肥満細胞というものにヒスタミンという物質が出ます。これが粘膜を刺激することで目のかゆみ、鼻水、くしゃみといった症状を引き起こします（図1）。



（図1）

▼ 今年の花粉の飛散予測 ▼

昨年は花粉の飛散量がとても多く、花粉症の方にとってつらいシーズンとなりました。では、今年の花粉の飛散量はどうなのでしょう。

今年は昨年と比べて3～5割程度の飛散量で、例年と比べても同じくらいかそれよりもちょっと少ないと予想されています。

▼ 花粉症の対策 ▼

今年の花粉は量が少ないといえ、
飛散することには変わりありません。

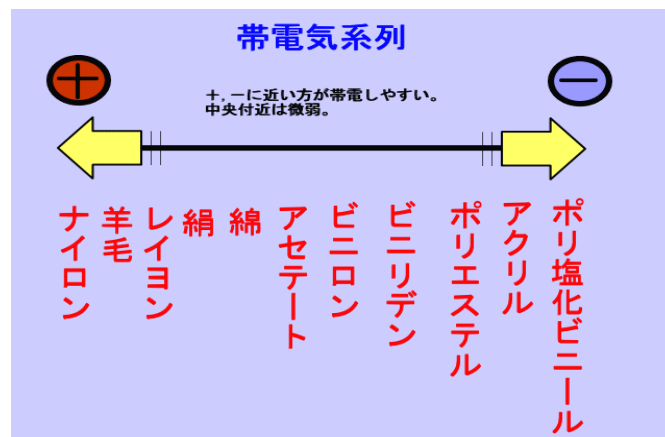
そこでしっかりと花粉の対策をしてください。



まずは花粉を体内に入れないことです。そのため、マスクやゴーグル等を付け、鼻や目に花粉が入らないようにすることが大切です。また、最近では鼻の周りに塗るだけで花粉をブロックするものもあるようです。

次に、体や衣服に花粉を付けたままにしないことです。そこで家の中に入る前に衣服を掃って花粉を落とし、中では手洗いうがいに加えて顔を洗って花粉を落とします。また、この時期は寒さと乾燥、重ね着で静電気が発生しやすくなっています。この静電気も花粉を衣類につけやすくする原因なので、図2を参考に静電気の起きにくい衣類の組み合わせをすることも対策となります。

遠い組み合わせほど強い
静電気を帯びる
例) フリースとセーター



(図2)

しかし、それでも症状は出てしまうことはあります。そこで、花粉のシーズンに入ってからでなく、入る前のこのくらいの時期からかかりつけの耳鼻科などへ行って症状を軽減するための治療をしてください。

ここに書いたことはほんの一例です。各々が自分なりの対策をとって、つらい花粉の季節を乗り切ってください。